


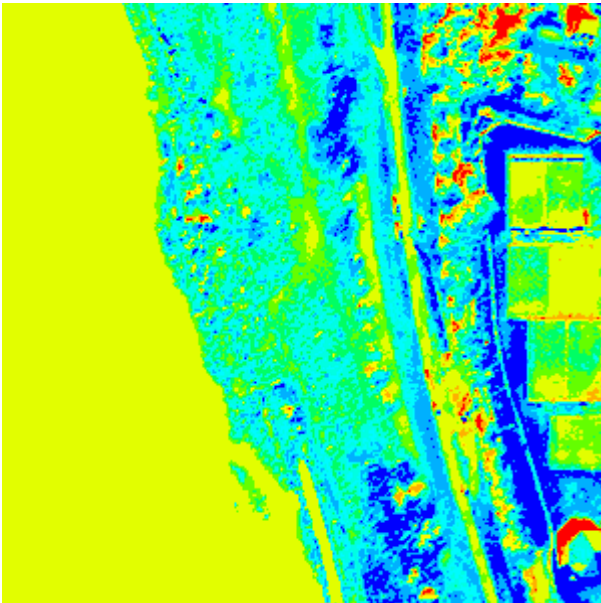
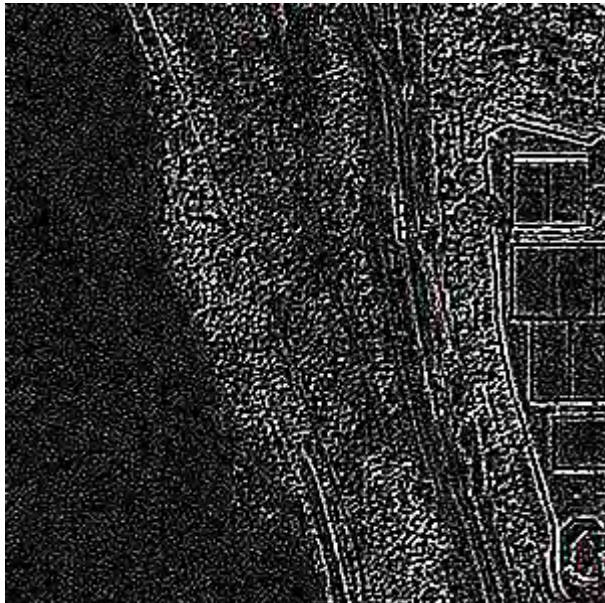

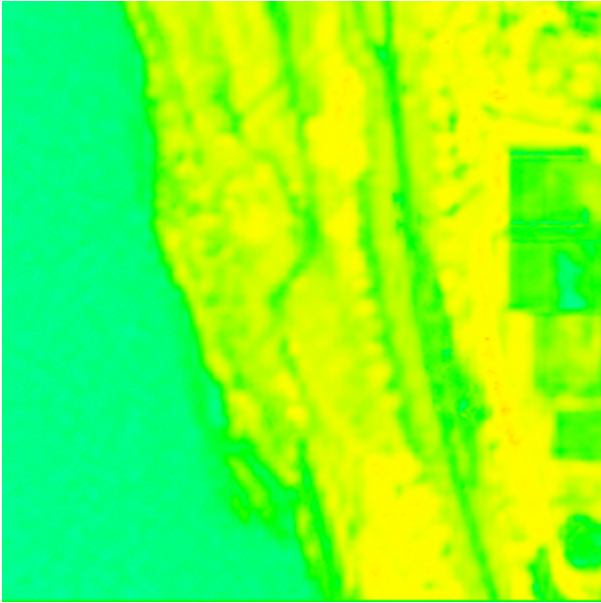
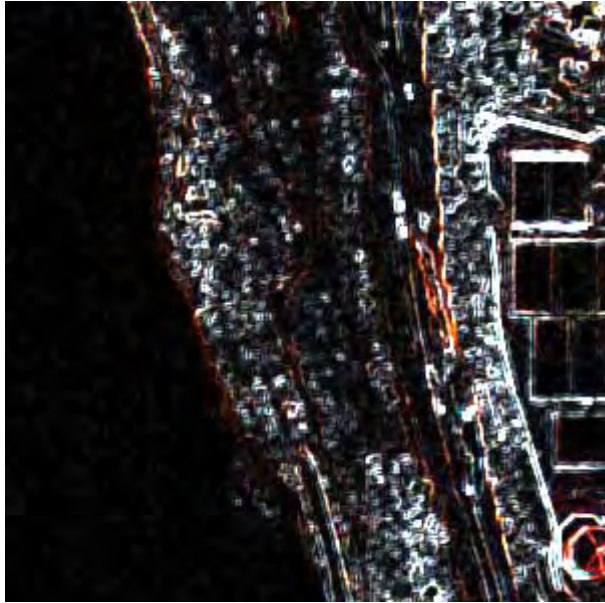
No.013	長岡市 三俣野町	被害形態：堤防護岸変状	被害規模：大
<p>【被災後 IKONOS パンシャープン】</p> 	<p>【教師なし分類】 評価： (×)</p> 	<p>【エッジ抽出】 評価： (×)</p> 	
<p>堤防が大きく崩れている</p>	<p>川の中に青色の部分が崩れ出ているように見えるため、川側に対しての被害範囲は判読できる。陸側は不明瞭である</p>	<p>堤防の線状が変形して被害を受けていることが判読できる</p>	
<p>【エッジ強調】 評価： ()</p> 	<p>【画像間演算 (NDVI)】 評価： (×)</p> 	<p>【テクスチャ】 評価： (×)</p> 	
<p>堤防が崩れている部分のエッジが強調されて、判読しやすくなっている</p>	<p>色情報からは判読できないが、教師なし分類同様に川側への被害範囲は判読できる</p>	<p>堤防の線状が変形して被害を受けていることが判読できる</p>	

図 1-2-14 堤防護岸変状 (大規模) の各種画像処理結果


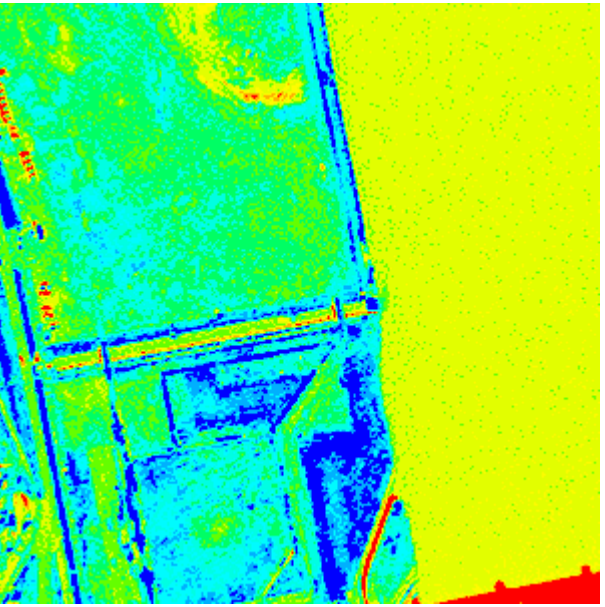


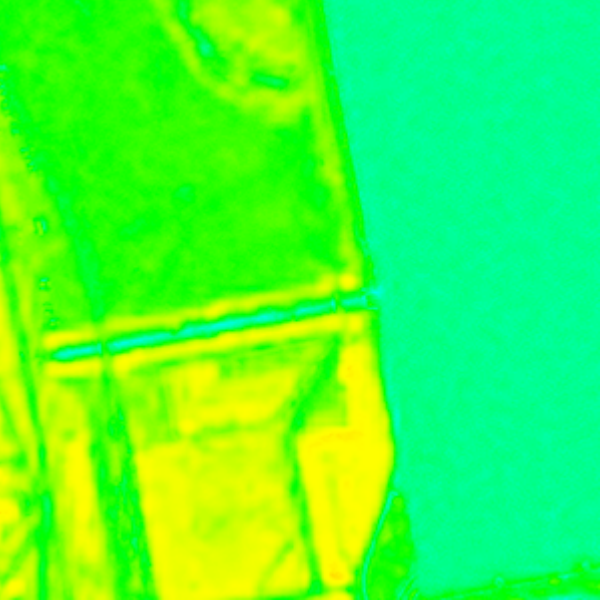
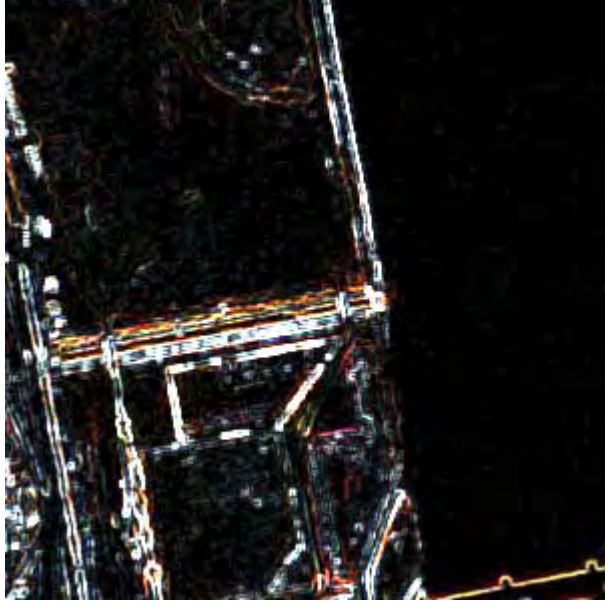
No.014	信濃川 妙見堰付近	被害形態：堤防護岸変状	被害規模：中
<p>【被災後 IKONOS パンシャープン】</p> 	<p>【教師なし分類】 評価：×（×）</p> 	<p>【エッジ抽出】 評価：（×）</p> 	
<p>堤防護岸が変状している</p>	<p>被害箇所が分類できていないため、教師なし分類から判読できない</p>	<p>線状の堤防が変形しているように見えるが、エッジが細いため不明瞭である</p>	
<p>【エッジ強調】 評価：（ ）</p> 	<p>【画像間演算（NDVI）】 評価：×（×）</p> 	<p>【テクスチャ】 評価：×（×）</p> 	
<p>エッジは強調されているが、原画像と判読のレベルは変わらない</p>	<p>堤防のラインがぼやけているため NDVI からは判読できない（植生指標であるため、構造物の被害判読には向かない）</p>	<p>輪郭が太いため、テクスチャから被害箇所は抽出できなかった</p>	

図 1-2-15 堤防護岸変状（中規模）の各種画像処理結果


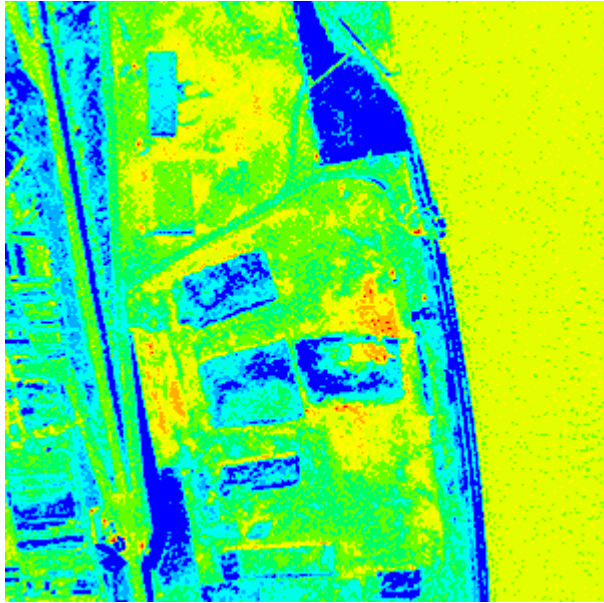


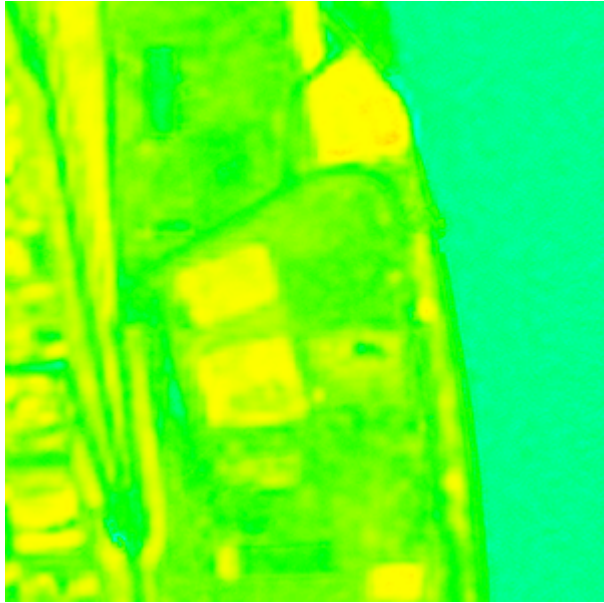
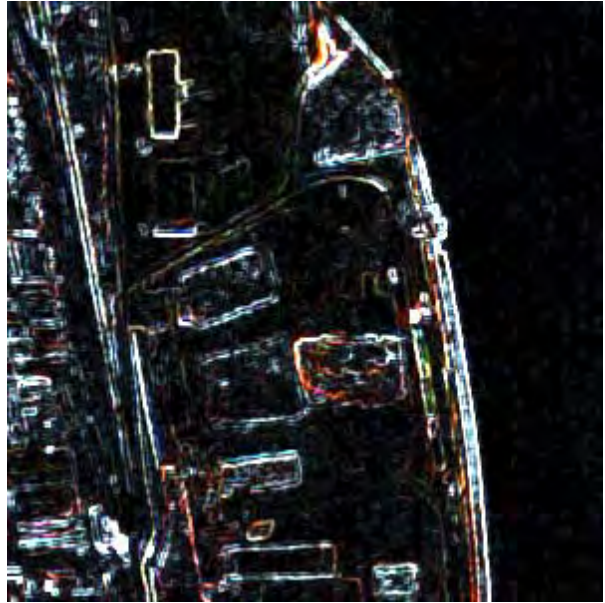
No.015	信濃川 妙見堰付近	被害形態：堤防護岸変状	被害規模：小
<p>【被災後 IKONOS パンシャープン】</p> 	<p>【教師なし分類】 評価： ()</p> 	<p>【エッジ抽出】 評価： ()</p> 	
<p>堤防護岸が変状している</p>	<p>被害箇所の分類はできていないが、護岸のラインに注視すると、護岸が崩れていることが判読できる</p>	<p>エッジは細いが、護岸が変状していることが判読できる</p>	
<p>【エッジ強調】 評価： ()</p> 	<p>【画像間演算 (NDVI)】 評価： × (×)</p> 	<p>【テクスチャ】 評価： × (×)</p> 	
<p>輪郭が強調され、護岸の変状が判読しやすくなった</p>	<p>堤防のラインがぼやけているため、NDVI からは判読できない</p>	<p>輪郭が太いため、テクスチャから被害箇所は抽出できなかった</p>	

図 1-2-16 堤防護岸変状 (小規模) の各種画像処理結果